

岸田・安倍氏の地元から怒り

武力で平和つくれない

ロシアによるウクライナ侵略に際し、岸田文雄首相や安倍晋三首相が演説の役となつて9条改憲を迫り、「核共有」の議論を進めようとしている。だが、強い怒りの声があがっています。岸田、安倍両氏の地元である広島・山口両県でも「武力で平和はつくれない」と訴える人たちがいます。(岡素晴)

広島県北部の三次市では、ウクライナへの侵略が始まって以降、4回にわたる市民有志が街頭宣伝などに取り組んできました。行動を呼びかけている一人は、浄土真宗本願寺派・西善寺の住職、小武正教さん(64)は、マイクを握り直伝を訴えています。

「力づくで自らの論理を押し通しているフーチン大統領を、私は仏教徒の立場から人間性を失った鬼の顔をしてい

広島・三次市



と、この鬼を退治する必要がある。人間の心を失っているのかと伝え、人間らしく生きるこの大切さを子どもや孫たちにも伝えていかねば」と語りました。

心がある。改憲の論理に立ち向かうには、その鬼を退治する必要がある。人間の心を失っているのかと伝え、人間らしく生きるこの大切さを子どもや孫たちにも伝えていかねば」と語りました。

県内のある自民党県議も、核共有を議論すべきだとする安倍元首相の主張に、「こんなバカげた話はない」と憤ります。



軍事行動やめる 3面



法政大学名誉教授・前総長 田中優子さん
広島県代表 田中美穂さん
俳優 古舘寛治さん

シンガポールのリー・シェンロン首相は30日、訪問先のワシントンで、米シンクタンク外交問題評議会の催しに出席し、ロシアのウクライナ侵略に対する各国の対応として、日本の安倍晋三首相が提案した「核共有」の考えや、韓国の世論調査で核能力開発支持が多くなったことなどをあ

リー氏は「日本政府は危険な方向に向かっていく」と強い懸念を示した。アは植えつけられ、消た。

「われわれは非常に危険な方向に向かっていく」と述べた。

山口・長門市

日本海に面した山口県北西部の長門市油谷(ゆや)。安倍晋三元首相の祖父・寛(かみ)氏(1894-1946)は、父で元外相の晋太郎氏(元国民院幹事長、1924-91年)の墓がある場所です。

非戦を説いた 安倍氏の祖父

この油谷の一角にある浄土真宗本願寺派の



武力で平和つくれない 岸田・安倍氏の地元から怒り

菅正寺では、仏教の教えを伝えるソツダの「法句経」(タンマバダ)の一節が掲げられていました。「すべての者は暴力におびえ、すべての者は死を恐れる。わが身に置きかえて、殺してはならない。殺してはならない。」

住職の高橋晃性(けいしゅう)さん(72)は、安倍元首相がウクライナ問題を好機として、9条改憲を迫っているのは、自分たちのことを憂慮する一人です。

「安倍元首相は戦時中に非戦を説いた寛さんのことを全く語りませんが、当時を知る門徒の

「9条のすばらしい理想こそ」



常正寺の掲示板の前で、高橋晃性さん(右)と長岡裕之さん=山口県長門市

「国会にあっては(大政翼賛会)非推薦議員団の一員として軍事政権に敵し対立した(油谷町史)」

祖父の反戦思想に背き、戦争する国への道をひた進み安倍元首相の姿勢に、高橋さんは異議を申し立ててきました。

安倍政権が安保法制の国会審議を進行していた2016年6月、油谷・日置地区の浄土真宗本願寺派10カ寺で構成する山口教区大津西組(おつにし)は、安倍晋三事務所に対し、安倍元首相の地元中目が集まる一方、価値の一部から「あんなに

黒田みち 090-9987-7909

「赤旗」 月刊 3497円 日曜版 月 980円

日本共産党

この紙面は「しんぶん赤旗」の切り抜き記事です。